

やらされる選挙から個人の意志で選挙を

日立労組は、夏の参議院選挙に向けて、組合員に、組織候補者への支持を押し付けています。選挙の度に職場は重苦しい雰囲気になります。

昨年の総選挙で、念願の民主党政権を実現させた日立組合ですが、民主党は

「政治とカネ」の問題や連立政権の迷走で国民の信頼を失い、鳩山首相、小沢幹事長が辞任しました。

職場からは「民主党で本当によくなるのか」「労働組合にとつて、民主党政権は何なのか」という声が出ています。

労働組合の選挙活動で問題なのは

民主党に対する評価はいろいろだとしても、労働組合の選挙活動で問題なのは、

「働く者の代表、組織の代表」と称して、特定の政党や組織候補者への支持を組合員に押し付けていることです。そして、組合員を選挙活動に動員すること、支持者カード回収をしつこくフオロアップすること、

「激」の用紙に署名させ

「政治とカネ」の問題や連立政権の迷走で国民の信頼を失い、鳩山首相、小沢幹事長が辞任しました。

民主党に対する評価はいろいろだとしても、労働組合の選挙活動で問題なのは、

「働く者の代表、組織の代表」と称して、特定の政党や組織候補者への支持を組合員に押し付けていることです。そして、組合員を選挙活動に動員すること、支持者カード回収をしつこくフオロアップすること、

労働組合の選挙活動の原則は

政党支持は個人の自由な権利です。

特定政党支持は許されない

労働組合は思想信条を問わず組合員の要求実現のために活動する、労働者のための組織です。ですから組合員が、どの政党を支持するか、どの宗教を信じるか、これは組合員個人の自由な権利として保障されなければなりません。

組織候補者と称して、特定の政党に属する候補者を推薦し、その候補者の票を集めるよう指示したり、機関紙を使って宣伝したり、組合費を特定の政党のため支出したり、組合員を選挙活動に従事させることは許されません。

選挙活動は個人の自由な意思の尊重を

政治活動、選挙活動は、すべての国民に保障された権利です。個人の意志で選挙に取り組みましょう。

労働組合は、基本に立ち

返り、現行の選挙活動のやり方を見直し、良識ある選挙活動に改善すべきです。

他山の石

民主党の小林千代美衆院議員（北海道5区）陣営が昨年の衆院選挙をめぐり、北海道教職員組合から政治資金規正法に反する資金提供を受けていたヤミ献金事件。事件の背景には、

票もカネも「労組丸抱え」という選挙の実態があると報道されています。組合員の証言では、「毎回の選挙では1人5、10票を集め、支持者カードを組合に提出しなければなりません。そのほかピラマキヤ、街頭演説会の動員、事務所を集められての電話かけなど」と。日立の職場の状況と酷似しています。



日立懇

<発行> 2010年6月号

<日立・勝田地区版>

日立関連労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20

(電機労働者懇談会気付)

TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595

http://www.hitachikon.net

E-Mail info@hitachikon.net

最寄の連絡先 090-8747-6239 (馬場)



日立事業所（工場）開放

日立製作所創業100周年

記念事業として5月22日（土）、日立事業所が開放され地域の方々従業員の家族がタービン・発電機・製缶工場を見学した。職場は整理整頓されていて通路のペンキが真新しい。日立駅前にある羽根車と同じようなタービンの前には納先NNN-2（志賀原子力発電所2号機の略称）の看板があった。浜岡原発で羽根の損傷事故を起こしNNN-2でもヒビ割れなどが発見されたので前社長が日立事業所に毎週のように来て事故対策にあたった。その対策再製品が目の前にあり「今度は大丈夫だろうね、壊れるなよ！」と願わずにはいられなかった。特設ステージでは仮面ライダーショーなどしていたが、音楽や劇など文化的なものもほしかった。

（日立事業所）

定年退職年に

リフレッシュ休暇では

リフレッシュ休暇は、勤続年数が満10年以降5年単位に付与される。4月1目で勤続年数が41年目になったが、リフレッシュ休暇対象年数の

「満40年に達した者」の対象者にならず、付与は来年度のよつだ。42年目となれば高卒

者の場合は定年退職の年であり、4月や5月定年の人は行いが難しいのではないか。勤続年数は「所員就業規則の勤続年数による」となっているがよく分からない。（大みか）

仕事がいっぱいで

残業やりたい

仕事量減少で残業がない日が続いていますが、開装部の一部の職場では、GWは交代で毎日出勤となりました。残業のない職場の人は「羨ましい限りです。残業がないと厳しい」また「公出は嬉しいが事故対応の出勤は素直に喜べない」等、素直な気持ちがさわやかです。（AEPパワー）

従業員にも

「記念配当」を

日立の創業100周年を記念して、さまざまな取組みが行われている。職場では、記念品や金一封を期待する声が出ています。日立の「2010年3月期決算報告」を見ると、2010年度の株主への中間（9月）配当は3円の普通配当に創業100周年記念配当2円を加えて5円の配当を予定しています。従業員にも株主同様の「記念配当」をお願いしたいものです。（大みか）

餅屋は餅屋

謙虚な気持ちで受注拡大

過日、メーカーに対する予算説明会が実施されました。製品不良の撲滅と大幅な原価

低減の厳しい要求がなされました。「メーカーの原低も限界だ。もっとメーカーの意見も取り入れていっしょになつて取り組んでほしい」との率直な意見も聞かれました。受注確保のために国際競争力の強化は必要ですが、外部だけに頼らずAEPパワー自身の技術力アップが何よりも重要だとの認識が必要です。（AEPパワー）

これでは仕事か・・・

日立工機では企業業績のV字回復を目指す社長方針のもと、営業利益率二桁目標を掲げ、円高などを口実に生産の海外移転、部品の海外調達が進められています。既に連結の生産台数では海外生産比率が84%に達しており、更に拡大させようとしています。これでは国内のモノ作りと働く者の生活は良くなるらない、企業の利益優先、儲け第一主義で日本経済も景気もダメになつて、失業者で溢れてしまつて話し合われています。日立は海外展開を加速させ三年間で国内従業員一万四千人を減らすと発表しています。（日立工機）

労働者
派遣法

道ひろく
正社員化へ
改正を
抜本